

1 講義：契約の神を信じなさい

イエスは、フィリポ・カイサリア地方に行ったとき、弟子たちに、「人々は、人の子のことを何者だと言っているか」とお尋ねになった。弟子たちは言った。『洗礼者ヨハネだ』と言う人も、『エリヤだ』と言う人もいます。ほかに、『エレミヤだ』とか、『預言者の一人だ』と言う人もいます。」イエスが言われた。「それでは、あなたがたはわたしを何者だと言うのか。」シモン・ペトロが、「あなたはメシア、生ける神の子です」と答えた。すると、イエスはお答えになった。「シモン・バルヨナ、あなたは幸いだ。あなたにこのことを現したのは、人間ではなく、わたしの天の父なのだ。 マタイによる福音書 16:13-17

1、私の根本の問題は何か？

1) 元来の人間

- ①存在（**身分**）：神の霊と共にいる塵（ちり）で造られた肉の器
- ②祝福（**権勢**）： 繁栄、征服、支配

2) 「神と共に」の奥義：神の言葉に聞き従う（=契約の信仰）

- ①神は言われた。「我々にかたどり、我々に似せて、人を造ろう。そして海の魚、空の鳥、家畜、地の獣、地を這うものすべてを支配させよう。」神は御自分にかたどって人を創造された。神にかたどって創造された。男と女に創造された。 創世記 1:26-27

②ただし、善悪の知識の木からは、決して食べてはならない。食べると必ず死んでしまう。創世記 2:17

3) 根本問題

- ①命の契約（創世記 2：17）に対する不従順
- ②不従順の背景：サタンの偽り
- ③不従順の結果：神の霊が離れる
 存在的（**致命的**）問題・・・盛られるべき祝福と権威が受けられなくなった
 人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっていますが、 ローマ 3:23

2、福音と宗教

1) 宗教

いや、わたしが言おうとしているのは、偶像に献げる供え物は、神ではなく悪霊に献げている、という点なのです。わたしは、あなたがたに悪霊の仲間になってほしくありません。1コリント 10：20

- ①どんなに良いものに見えても「**神を離れた人の心と考え**」から出たもの
 《神のない自己中心=呪い》
- ②「**神を離れた人の心と**思い」の主人になったサタンの『**偽りの救いの道**』
 《サタンの支配=罪と死の法則》

③神の契約を破り、神から切り離される

《罪＝不信仰》

宗教は生活の中で、**一時的な慰め**にはなるかもしれませんが、**根本的な解決ではないゆえ**にもっと大きな問題となります。

2) 福音

ほかのだれによっても、救いは得られません。わたしたちが救われるべき名は、天下にこの名のほか、人間には与えられていないのです。使徒 4:12

①生きておられる神・・・人間の考えが、あみ出した偶像ではない。

②**キリスト＝罪・サタン・呪いの解決**

③**イエス＝罪人に来られた神様**

どうすることもできない罪人が、この世のただ中から真の神に近づくことができる**唯一の道**

3) 神の恵みによる福音信仰

ここであなたがたに言っておきたい。神の霊によって語る人は、だれも「イエスは神から見捨てられよ」とは言わないし、また、聖霊によらなければ、だれも「イエスは主である」とは言えないのです。I コリント 12:3

事実、あなたがたは、恵みにより、信仰によって救われました。このことは、自らの力によるのではなく、神の賜物です。エフェソ 2:8

①**私たちが神様を愛したのではなく、神様が私たちを先に愛された。**

わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して、わたしたちの罪を償ういけにえとして御子をお遣わしになりました。ここに愛があります。I ヨハネ 4:10

②**福音信仰の恵みは、誰にとっても必ず必要なものである。**

逆に、神様が恵みをくだされば、信じないということは不可能である。

3、何よりもまず、「神が主人として共にいる」**真の自分を回復**しなさい。

1) 目に見える問題が問題ではない。

「神が主人」になっていない心と考えが、サタンに騙されて「問題だ」と勘違いする。

この世の神が、信じようとはしないこの人々の心の目をくらまし、神の似姿であるキリストの栄光に関する福音の光が見えないようにしたのです。II コリント 4:4

そのような人間の、**どんな善も**神の目には汚れている。

わたしたちは皆、汚れた者となり、正しい業もすべて汚れた着物のようになった。

わたしたちは皆、枯れ葉のようになり、わたしたちの悪は風のように、

わたしたちを運び去った。イザヤ書 64:5

- 2) 「神様が私の主人」となってくれる唯一の道は、
私が、「イエスがキリスト・主である」と信じることである。
イエスは答えて言われた。「神がお遣わしになった者を信じること、
それが神の業である。」 ヨハネ 6:29

イエスは言われた。「わたしは道であり、真理であり、命である。
わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない。」 ヨハネ 14:6

「神様が私の（心と思いの）主人」になると、
神様が「私を通してしよう」としていたすべてのことを行うことができる。
わたしを強めてくださる方のお陰で、わたしにはすべてが可能です。ピリピ 4:13

- 3) ただイエスキリストの契約の中に留まるときに、
主の霊で満たされ、私の心と意思を主が治めてくださいます。

2 講義：信じるなら、心の赴くまま挑戦しなさい

わたしも言っておく。あなたはペトロ。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てる。陰府の力もこれに
対抗できない。わたしはあなたに天の国の鍵を授ける。あなたが地上でつなぐことは、天上でもつながれる。
あなたが地上で解くことは、天上でも解かれる。」 それから、イエスは、御自分がメシアであることを
だれにも話さないように、と弟子たちに命じられた。 マタイによる福音書 16:18-20

1、主・イエス・キリストの御名で祈ることの意味

(契約を握った信仰の祈り)

- 1) 間違った祈り・・・神の約束に釘づけられていない心と、肉体の欲するままと祈る
(契約上、主人は誰?)
- 2) 未熟な祈り・・・出来事や事件のたびに、神の御心は何なのかを聞く
(契約上、我が内に誰が生きているか?)
- 3) 成熟した祈り・・・先に、常に、聖霊の満たし、神の国を求め、待つ
(主の約束に全心をゆだねる)

ただイエス・キリストが、
ただイエス・キリストに十分、
さらに、ただイエス・キリストで完全になるまで
絶えず、キリストの約束に自分自身を捧げる献身の祈り

生きているのは、もはやわたしではありません。キリストがわたしの内に生きておられるのです。
わたしが今、肉において生きているのは、わたしを愛し、わたしのために身を献げられた
神の子に対する信仰によるものです。 ガラテヤ 2:20

しかし、このわたしには、わたしたちの主イエス・キリストの十字架のほかに、誇るものが決してあってはなりません。この十字架によって、世はわたしに対し、わたしは世に対してはりつけにされているのです。 ガラテヤ 6:14

2、すべてにおいて、キリストを主と認める

キリストの名によって神の国、聖霊の満たしを求める者に神が約束されたもの

- 1) 天国の鍵を与える・・・神様にねだらないで、私に与えられている鍵を使うのが信仰
わたしはあなたに天の国の鍵を授ける。あなたが地上でつなぐことは、
天上でもつながれる。あなたが地上で解くことは、天上でも解かれる。 マタイ 16:19
 - 2) 天国の鍵は、私のどこに入れてくださったのか・・・信じる私の『願い』が天国の鍵である
あなたがたの内に働いて、御心のままに望ませ、
行わせておられるのは神であるからです。ピリピ 2:13
- ①私を通して「御心を成し遂げる」ために、神が私に与えられた鍵 {何でも願う通りに}
②「キリストが主人」である私の生活の中に、神が臨まれる鍵 {私の心の望み}
- 3) 「キリストの約束に基づく私の心と言葉」に、神様が神の国の背景をもって確かにされる【保証】

「神様が見る」のは・・・私の信仰が神の約束通りに、キリストに忠実であるのか
(信仰に答えて)「神様が働く」のは・・・信じる者が何を願っているのか

そこで、イエスはお答えになった。「婦人よ、あなたの信仰は立派だ。
あなたの願いどおりになるように。」そのとき、娘の病気はいやされた。 マタイ 15:28

3、信じる者の『心の願い通りに』答えるかたちで、御業を行われる神

あなたがたがわたしにつながっており、わたしの言葉があなたがたの内に
いつもあるならば、望むものを何でも願いなさい。そうすればかなえられる。 ヨハネ 15:7

- 1) 契約の神が主人となる・・・私はキリスト (福音契約) の内にとどまる
神の言葉 (ビジョン契約) が、私の心の中に刻印
【キリストの内の私・私の中のみことば】
 - 2) 信じる者の願い・祈りに答えて『御心を実現』していかれる神
- ①何でも願うことを求めなさい
わたしの名によって願うことは、何でもかなえてあげよう。こうして、
父は子によって栄光をお受けになる。 ヨハネ 14:13

その日には、あなたがたはもはや、わたしに何も尋ねない。はっきり言うておく。
あなたがたがわたしの名によって何かを父に願うならば、父はお与えになる。
今までは、あなたがたはわたしの名によっては何も願わなかった。
願いなさい。そうすれば与えられ、あなたがたは喜びで満たされる。 ヨハネ 16:23-24

②中心の信仰を確認して、願いをかなえてくださる神

一行はエリコの町に着いた。イエスが弟子たちや大勢の群衆と一緒に、エリコを出て行こうとされたとき、ティマイの子で、バルティマイという盲人が道端に座って物乞いをしていた。ナザレのイエスだと聞くと、叫んで、「ダビデの子イエスよ、わたしを憐れんでください」と言い始めた。多くの人々が叱りつけて黙らせようとしたが、彼はますます、「ダビデの子よ、わたしを憐れんでください」と叫び続けた。イエスは立ち止まって、「あの男を呼んで来なさい」と言われた。人々は盲人を呼んで言った。「安心しなさい。立ちなさい。お呼びだ。」盲人は上着を脱ぎ捨て、躍り上がってイエスのところに来た。イエスは、「何をしてほしいのか」と言われた。盲人は、「先生、目が見えるようになりたいのです」と言った。そこで、イエスは言われた。「行きなさい。あなたの信仰があなたを救った。」盲人は、すぐ見えるようになり、なお道を進まれるイエスに従った。 マルコ 10:46-52

すると、もう一人の方がたしなめた。「お前は神をも恐れないのか、同じ刑罰を受けているのに。我々は、自分のやったことの報いを受けているのだから、当然だ。しかし、この方は何も悪いことをしていない。」そして、「イエスよ、あなたの御国においでになるときには、わたしを思い出してください」と言った。するとイエスは、「はっきり言うておくが、あなたは今日わたしと一緒に樂園にいる」と言われた。 ルカによる福音書 23:40-43

3) 私の聖霊充滿の尺度

①私の心が、必ず成就される未来の夢をみているのか

②私の心に、みことば成就に対する情熱があるのか

③私の心に、完成されるビジョンに対する、具体的で事実にロードマップがあるのか

心の板に、神の契約成就に至るための具体的、かつ実践可能な祈りの課題が刻まれていないなら、今、キリストに集中できていないという現われ、心が様々なことによって乱されている状態である。